

# 自動車ペダル 踏み間違いなくせ

## 「バトンペダル」改良へ

自動車のペダルの踏み間違いを防ぐと、アクセルとブレーキを一体化した「バトンペダル」の改良を進める産学研究会が13日、合志市の熊本高专熊本キャンパスであり、学生と企業の社員が新しいペダルの開発方法や課題を



## 学生と企業が連携

バトンペダルの改良について話し合ったバトン合同会社の荒田晃慎代表(左)と熊本高专の学生(合志市)

議論した。

バトンペダルは踏み込むとブレーキ、右にスライドするとワイヤが引っ張られてアクセルを開けることができ、高齢者らの踏み間違いを防ぐほか、左足用のペダルもあるため、右足が不自由な障害者の運転支援にもなるという。

研究会は4月、ペダルを開発・販売するバトン合同会社(熊本市中央区)と障害者支援機器の開発に取り組む同校が中心となって発足。アクセルを、ワイヤではなく電子制御する装置の開発と、踏み間違いを防ぐ有効性を検証する。

この日は、制御情報システム工学科5年の江崎統満さん(19)が制御装置の開発、中川岬さん(19)がペダルを踏む足の動きや圧力を測定する機器の設計過程を説明。同校の大塚弘文教授は「年内には一定の成果を出したい」。同社の荒田晃慎代表(53)は「改良を進め、科学的な有効性を証明する」と話した。

(深川杏樹)